

熊田 甚一さん(白河市)

白河市大信地区でブロッコリーの生産を行っている、JA しらかわブロッコリー専門部会長の熊田さんにお話を伺いました。

熊田さんは約 40 年間ブロッコリーの生産に携わっています。

両親の代から引き継いだ頃は、10～20 アールほどの規模でブロッコリーの生産を行っていましたが、現在では 80 アールに規模拡大し「ウィンベル」「ピクセル」「陽麟」などのブロッコリーを生産しています。

ブロッコリーは春と秋の 2 回、収穫を行います。春は 10 アールあたり 250～300 箱(一箱 12 個)、秋は 10 アールあたり 200～250 箱ほどになるそうです。

最近の不安定な天候(長雨やゲリラ豪雨、日照りなど)による根腐れや、水遣りの手間の増加、さらに土壌伝染病である「根こぶ病」などの病害への対策(土壌 pH の調整など)もしなければならず、心配は日々尽きないとおっしゃっていました。



熊田甚一さん



ウィンベル

熊田さんは、「ブロッコリーに含まれるイソチオシアネートはがんの予防に効果があり、若い方からお年寄りまで、沢山食べてもらいたい。そのためにも消費者の方々に喜んでもらえる、安全・安心でおいしいブロッコリーの生産を続けていきたい」と笑顔でおっしゃっていました。

お忙しい中ありがとうございました。